

新しいたばこ関連製品の 種類と特徴 ～健康影響は？～



■ 無煙たばこ(かぎたばこ・噛みたばこ)

加熱・燃焼させることなく使用する製品。

(口腔内や唇・頬と歯肉の間に置き、吸引したり噛むなどの方法によって使用する、または鼻腔より細かいたばこ混合物を吸入するなどの方法により使用する)

例)ゼロスタイル、スヌース

健康影響について

国際的には、人に対して発がん性があると判定されており、口腔がん、膀胱がんの原因になることが示されています。健康影響に関する研究はほとんどが西欧のものですが、無煙たばこに含まれる発がん性物質について、日本人と西欧人で生物学的機序が異なることを示す根拠はなく、日本人について国外の評価と異なる判定をする積極的な事由はないとされています。

■ 電気加熱式たばこ

電子制御機器と組み合わせて、たばこの葉あるいはたばこの葉を加工したものを燃焼させずに電氣的に加熱して発生するニコチンを吸入する製品。

たばこ事業法に基づくたばこ製品として販売。

例)プルーム、アイコス

健康影響について

紙巻たばこに比べて有害物質や発がん性物質が少ないとうたわれているものもありますが、広告等でうたわれている有害物質の削減が事実であったとしても、たばこ煙にさらされていることについては安全なレベルがないため、健康へ悪影響を及ぼす可能性は高いとされています。電気加熱式たばこ製品と疾病との因果関係については、今後の研究が待たれる状況です。

■ 電子たばこ

溶液を加熱して煙霧を発生させ、吸入する製品。

ニコチンを含む製品は日本国内で販売が許可されていませんが、個人輸入サイト等では海外のニコチン含有製品が取り扱われている。

健康影響について

紙巻たばこと比較して、有害成分全体としてははるかに少なく、周囲の有害物質の暴露も同様に小さいことが報告されています。しかし、一部の製品については、特定の有害成分が紙巻たばこによって生じる量と同じくらい多いことが明らかになっており、健康への影響に懸念があることは事実です。

<引用・参考文献>

厚生労働省「喫煙と健康～喫煙の健康影響に関する検討会報告書～」 2016年9月

へるすあっぷ21 2017年1月

